

4/1 震災1周年復興祈念行事を開催しました

[2012.4.3]

4月1日（日）、桜が開花した東京丸の内のオアゾ^oo広場において、東日本大震災1周年復興祈念行事を開催しました。

「東日本大震災を乗り越えて～未来を創る私たち」と題するこの行事の目的の一つは、震災から1年を経た被災者の方々の「今」の想いを届けることでした。

大槌町の伝統芸能グループ「一心会」による民謡披露においては、冒頭、東梅代表は、「犠牲になったメンバーもあり、またこの会場に来ることのできなかったメンバーもいます。私たちはこのようなメンバーの想いを背負っています」と話して下さいました。また、澤山副代表は、「財産も衣装も津波に流され、自身も家族とともに津波に流されたものの、生き延びています。皆さまも生き延びてください」と来場者に語りかけられました。正に、このようなメッセージをとおして、来場者の方々に「被災者の『今』の想い」をお伝えできたのではないかと考えております。

また、同じ会場で販売された岩手県山田町および大槌町の特産品もほぼ完売し、多くの来場者がお買い物を通じて、被災地を支援して下さいました。

加えて、当財団の東日本大震災被災者支援事業の活動写真展においても、来場者が一枚一枚写真を丁寧にご覧いただいているお姿が印象的でした。展示させていただいた写真をとおしても被災地の現状をお伝えできたのではないかと考えております。

多くの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。

当財団の東日本大震災被災者支援事業活動は、2013年6月まで継続されます。引き続き、皆さまのご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



2階から見た会場の様子。民謡披露、物品販売、写真展示が同時並行で行われました。



歌手には、小学生日本一と高校生日本一が含まれていました。



震災事業の柱である「食糧安全保障」、「生活支援」、「心のケア」活動の写真を展示しました。